CO_2を「見える化」し、リサイクルで削減

NIK環境株式会社

さまざまな気づきから温暖化防止

「くらしき環境フェスティバル」に毎年出展

倉敷市に本社を構えるNIK環境（株）は、昭和53年設立の産業廃棄物処理会社。資源物を含めると1日に約50～60㌧もの廃棄物を扱い、資源ごとの分別・リサイクルと廃棄物処理業務を行っています。

倉敷市は、白壁の街として美観を誇る一方、水島コンビナートを抱える国内有数の工業地帯としても知られる地域。さらに、大型の火力発電所2カ所、世界最大規模のLNG基地、国内最大級の産業廃棄物処理場を有し、工業生産性に伴う温室効果ガス（CO_2）排出量は年間約3400万㌧と高いことでも知られています。そんな倉敷市の現状を見つめながら、日々の業務の中で大量生産、大量消費、そして大量廃棄の現場を目の当たりにしてきた同社では、次世代へ引き継がれる環境への影響をもっと広く一般市民や企業などの事業者に意識してほしいという思いから、平成20年から地球温暖化防止を目的としたリサイクルの推進やCO_2削減などの活動を展開しています。

NIK環境株式会社
イメージキャラクター
ECO & PEACE!のラヴちゃん

その具体的な取り組みの一つがCO_2の「見える化」です。リサイクルにより排出されるCO_2排出量を廃棄物・リサイクル計量表や管理表に明記するサービスをはじめ、平成21年からは『倉敷メカニズムBye-ByeCO_2削減プロジェクト』をスタートし、廃棄処分される不用品や資源物をリサイクルすることで、どれだけCO_2を削減できるかがわかる環境貢献サイトを運営。「大量にモノが廃棄されている現実に気づき、豊かになりすぎた生活のあり方を一人ひとりが見直すきっかけになれば」と、市民、団体、企業など多くの人に参加を呼びかけています。

また、昨年には廃棄物再生業者として全国初のCFP（カーボンフットプリント）を取得。経済産業省が行っている「どんぐりポイント制度」にも中四国地方で初めて参加が認められ、倉敷市が運営する「くらしきサンサン倶楽部」からの排出枠でカーボンオフセットする「どんぐりリサイクル」システムを独自で構築しています。

「この制度は、学校や企業から出される資源物をリサイクルしてどんぐりポイントを取得してもらい、貯めたポイントを倉敷市の環境学習センターに寄付していただき、エコ活動に使ってもらう仕組み。巡り巡っての地域貢献にぜひ参加してほしいですね」。

代表取締役
吉田　栄一

気づきからアクションを

昨今、異常気象による自然災害など、環境の大きな変化を身近に感じるようになりました。地球温暖化対策のための法整備が進む中、環境に直接関わる会社として、ただ単に利益を追求していくだけでなく、次世代に豊かで美しい環境を残していくために何らかの形でアクションを起こしていく使命感を感じています。

倉敷は伝統的な繊維産業を継承し、今ではジーンズの聖地として、その名が全国的に広まっています。豊かな自然、歴史的な文化、そして水島コンビナートをはじめとする先進的な工業と、古いものと新しいものとが共存するその姿は、世界に発信できる持続可能な社会構築へのよいモデルともいえると思います。

同社の一連の活動は行政からも評価され、これまでに岡山県地球温暖化防止プロジェクトでの「ストップ温暖化賞」や「CSR2プロジェクト全国青年部協議会会長賞」を受賞。「くらしき環境フェスティバル」にも毎年出展し、活動の周知を図っています。

会社概要

NIK環境株式会社

倉敷市児島上の町1丁目9-67
tel.086-472-1828

■設　　立／昭和53年12月3日
■代 表 者／代表取締役　吉田 栄一
■事業内容／産業廃棄物処理業（中間処理施設）、産業廃棄物収集運搬業、廃棄物再生業、環境関連ソフト開発、環境教育（講習会・研修会）、CSR対策（CO2削減・CFP取得支援など）ほか